

静清高校「自己理解研修」
アンケート結果

フィードバックレポート



実施日: 2026年6月10日

対象: 静清高校 2年生 就職希望クラス

1. 研修概要と本レポートの目的

実施日: 2026年6月10日

対象: 静清高校 2年生 就職希望クラス

目的: VRTカード、エンゲージメントカードを基に自己理解を進め、自分の興味のタイプを明確にさせた上で、企業紹介ガイドブックJOBUSを通じて気になる企業を選択し、何が気になったか、何がもっと知りたいのかなどを言語化させた。その結果を共有し、高校生の生の声（関心事、重視する価値観、疑問点）を各社に還元することで、今後の高卒採用におけるコミュニケーション最適化を図る。

個人情報の扱い: 本レポートでは特定の生徒を識別できる情報は全て除外しています。

2. 全体傾向：静清高校生が仕事選びで重視すること

重視ポイントの主要トレンド

- 仕事内容、職場の雰囲気、人間関係・・・ほとんどの生徒がこれらをセットで重視
- 給料・待遇、休日・働き方・・・安定性やライフワークバランスへの意識も非常に高い
- 地元貢献・自己成長・・・「地元で働けること」「自分の成長につながることを」を選択する生徒も一定数

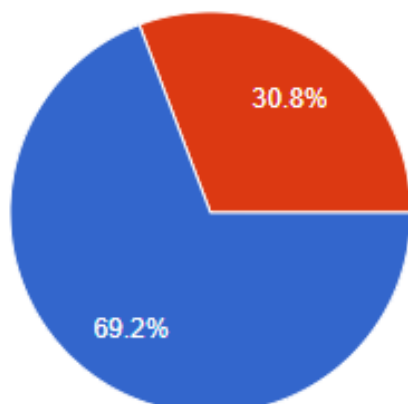
直接説明を希望する理由

- 「ガイドブックだけでは分からないことを知りたい」
- 「実際の雰囲気を知りたい」という声が圧倒的
- 「実際に働いている人の話を聞きたい」という欲求が強く、社員との直接対話が動機付けに有効

💡 社員との直接対話が動機付けに最も有効！

4. 企業の方から直接説明を聞いてみたいと思いましたか。

52 件の回答



3. 企業別フィードバック

貴社に興味を持った生徒が、「なぜ貴社を選んだのか」を具体的にフィードバックします。

事業・実績:

- 「創業100年の歴史と実績への信頼」
- 「人の役に立つ仕事内容」
- 「地域や社会を支える仕事としての安定感」
- 「長年続いている企業だからこその安心感」

長い歴史や実績は、生徒にとって企業への信頼につながっている。また、仕事内容についても「人の役に立つ」「地域を支えている」といった社会的意義を感じられることが、企業への関心を高める要因となっている。

独自の活動・ビジョン:

- 「スーパーGTなどのスポンサー活動を通じた印象」
- 「世界中を面白くというビジョンへの共感」
- 「遊び心や挑戦を大切にする企業姿勢への魅力」
- 「仕事以外の活動から企業を身近に感じた」

企業独自のビジョンや地域・スポーツへの関わりは、生徒が企業を知るきっかけになっている。特に、挑戦する姿勢やワクワク感のある考え方は、仕事内容だけでは伝わりにくい企業の魅力として印象に残っている。

労働環境:

- 「残業なし（17時定時）」「在宅勤務や子育て支援制度」
- 「年間休日の多さによる働きやすさへの期待」
- 「ランチタイムなど、日常の働き方がイメージできる情報への関心」
- 「仕事と私生活を両立できそうという安心感」

勤務時間や休日、子育て支援制度などの情報は、生徒が将来の働き方を具体的に想像する材料となっている。働きやすい環境が整っていることは、就職後の生活への安心感につながっている。



✨ 「人」と「雰囲気」が企業選びの決め手！

3. 企業別フィードバック

貴社に興味を持った生徒が、「なぜ貴社を選んだのか」を具体的にフィードバックします。

イメージ:

- 「パンフレットの写真がかっこいい」
- 「社員の距離が近そうで楽しそう」
- 「職場がきれいそう、雰囲気が良さそうという安心感」
- 「写真や社員の表情から働く姿を想像できた」

写真やデザイン、社員の雰囲気などの視覚的な情報は、生徒の第一印象に大きく影響している。職場の様子が具体的に伝わることで、「ここで働いてみたい」「自分にも合いそう」と感じるきっかけになっている。

個人の関心との一致:

- 「ものづくりやデザインなど、自分の興味と仕事内容が合っている」
- 「研究職や運転に関わる仕事など、特定の職種への憧れ」
- 「働きながら専門的な知識やスキルを身につけられることへの期待」
- 「自分の好きなことや得意なことを仕事にできそうという期待」

生徒は、自分の興味や将来やってみたいことと企業の仕事内容が重なる点にも魅力を感じている。仕事を通じて成長できることや、専門的なスキルを身につけられることも、企業選びの重要な視点となっている。



✨ 「人」と「雰囲気」が企業選びの決め手！

4. 高校生からの「質問・疑問」リスト

企業説明会等で優先的に回答・解説すべき項目です。
生徒の不安を解消するヒントになります。

仕事・スキルに関すること

- 「具体的にどのような仕事内容なのかもっと詳しく知りたい」
- 「どのようなスキルや資格が身につくのか、資格がなくても大丈夫か」
- 「仕事のやりがいと、逆に難しい点や失敗談を聞きたい」

職場環境・人間関係に関すること

- 「職場の人間関係は実際どうなのか」
- 「現場の雰囲気はどうなっているか（危険な仕事はあるか等）」
- 「男子でも活躍できる場はあるか」

待遇・私生活に関すること

- 「17時に定時で終わった後、どのように過ごしているのか」
- 「実際の給料や休みの頻度はどのくらいか」



？ 生徒の「知りたい」に応えることが信頼構築の第一歩！

5. 今後の採用コミュニケーションへの提言

アンケート結果から導き出される、高校生の心を掴むためのアドバイスです。

「安心感」の提供

歴史や実績は大きな武器になりますが、同時に「人間関係」や「危険性の有無」など、高校生が抱くリアルな不安に寄り添う説明が求められます。

「リアルな日常」の発信

17時以降の過ごし方や、ランチの時間、社員同士の会話など、ガイドブックでは伝えきれない「働く日常」を可視化することが有効です。

体験・対話の重視

多くの生徒が「実際に働いている人の話」を求めているため、若手社員との座談会や、実際の作業風景が見られる機会の提供を推奨します。



✨ 「リアルな日常」と「対話」が高校生の心を動かす！